

市民映画

小津安二郎監督特集

「お早よう」

出演：佐田啓二、久我美子 ほか

「秋日和」

出演：原 節子、司 葉子 ほか



■1998年7月18日[土]

12:30～ 「お早よう」

14:30～ 「秋日和」

17:00～ 「お早よう」

19:00～ 「秋日和」

■会場：碧南市芸術文化ホール／シアターサウス

■入場料：1日券500円

■チケット：6月20日[土]より発売。

*友の会会員、20名様以上の団体は6月13日[土]より予約受付開始。

■予約／問い合わせ

碧南市芸術文化ホール

碧南市鶴見町1-70-1 〒447-0057

TEL 0566-48-3731

「お早よう」

郊外の建売住宅が10軒ばかり並んでいる場所を舞台にした喜劇である。松竹の伝統の下町喜劇、長屋喜劇が、こういう現代の新しい住宅地に移しかえられて、庶民的な笑いをたっぷり盛り込んだ面白い作品になっている。ただし、庶民的とはいっても小津安二郎の作品であるから、その様式的な美しさはまことに整然たるものであり、俳優たちはデリケートで淡々としたユーモアを要求されている。子どもたちのたあいのないイタズラと、大人たちのとぼけた日常的な言動とが、ここでも平和なのどかな気分をかもし出す。1959年、松竹大船、94分。

「秋日和」

まだ美しい未亡人（原節子）と、その亡夫の友人たち（佐分利信、北竜二、中村伸郎）をめぐるホームコメディ。友人たちは未亡人に再婚をすすめるが、未亡人はその気はない。しかし、彼女の娘（司葉子）は母親が再婚するのではないかと疑って母親に反抗する。小津安二郎監督は生活の安定した上流中産階級の初老の人々ののんきな生活をユーモアと多少の哀感を込めてゆったりと描いている。1960年、松竹大船、128分。